

8.1

Thu

# 航空科学博物館が 大幅リニューアル



1989

大空の夢を乗せて  
次なるステージへ

平成元年に開館し、今年で30周年を迎えた  
航空科学博物館。

世代を超え、すべてのお客様に  
「魅力ある」「愛される」「楽しめる」

博物館として進むべく、  
令和元年8月1日に生まれ変わりました。

みて・ふれて・感じて  
もっと空が好きになる空間

空への憧れを

フロア全体で表現した展示施設。

航空の仕組みにもっと触れ合えるよう

新設された体験館。

進化を遂げた航空科学博物館では

「航空への憧れ」と「成田空港への親しみ」を

より身近に感じることができます。

2019





## Renewal 展示施設

### ①大型模型とパノラマビジョン

大型模型とコックピットが連動し、壁面のスクリーンに広がるパノラマビジョンによる大空のフライトが楽しめます。また、床にも演出映像が映し出されるので、実際に航空機を操縦しているかのような臨場感で、ダイナミックな体験をすることができます（操縦は別途有料）。

### ②航空機の変遷

航空機が発明されてから今に至る100年の軌跡を、300機もの航空機模型により黎明期・発展期・成熟期の3段階で紹介します。

### ③B747エンジンの仕組みを解説

航空機のエンジンの仕組みを実際の航空機エンジンにプロジェクションマッピングを用いて、音と映像で解説します。



## New open 体験館

### ④新たな展示スペース

今回新設された「体験館ホール」では、天上高10メートルの吹き抜けを活かした折り紙飛行機教室や、今、最も注目を集めている「空飛ぶクルマ」の企画展示など、大人も子どももワクワクする各種イベントが行われます。

### ⑤国内初！シミュレーター導入

体験館2階のコックピットルームに国内初となるシミュレーターを導入しました（別途有料）。

### ⑥バリアフリー展望台

バリアフリーに配慮した展望台を設置したことで、本館3階の展望台の利用が困難だったお客様も博物館からの眺望を楽しめます。

## Renewal 施設・整備

### ⑦写真映えスポット

お客様の期待感を高揚させる成田空港A滑走路を再現した玄関アプローチは、博物館の新たなシンボルとして、SNS映えすること間違いなし。

### ⑧DJブースが誕生

成田空港の離着陸を楽しめるというロケーションを活かし、航空機のガイダンスをより臨場感あるものとするため、解説ガイド用のDJブースを新設しました。

### ⑨さらに便利になった案内板

エントランスにタッチパネル式のデジタルインフォメーションボードが登場。館内の案内はもちろん、バスの時刻表や周辺の観光地情報まで知ることができます。

※東棟2階NAAコーナーも、成田国際空港㈱において全面リニューアルしました。

